



# 松南地区のシンボル カリヨン愛の平和の鐘イルミネーション

●連合町会長 中田清和

点灯式は12月20日(水)18時から、公民館大会議室に於いて開催されました。観客とスタッフでカウントダウンをして点灯し、同時にゲストの「Beerハミング」が奏でるハンドベルのクリスマスソングに会場は幸せいっぱいになりました。

さて振り返りますと、カリヨンは平成2年の開館と同時に松本東ライオンズクラブ(LC)から市に寄贈されました。市道整備にともないカリヨンの移転を含む道路工事や駐車場整備が行われ、平成26年4月1日に駐車場が完成し、カリヨンは松南地区公民館敷地北側の市道沿いに移転しました。

以後、運営は松南地区公民



館が続けてきましたが、カリヨンのイルミネーションは松南地区公民館の協力のもと平成27年から松南地区町会連合会が担当するようになり点灯式会場を3階大会議室に移動し、「松本音楽団」や「Beerハミング」をゲストにお呼びして点灯式を開催してき

ました。  
イルミネーションをもっと華やかにというささやきが聞こえて来てはいますが、イルミネーションデザイン、イベント、予算についてみんな考えて、イルミネーション点灯式を楽しくやりたいなあ〜と、思います。

●イルミネーションの今後に向けて  
百瀬 壽

松本東ライオンズクラブ(LC)から譲り受けた時点で電球や器具の消耗が激しく、このまま全部をそのままの状態で使用できないと判断したものの、カリヨンの移転等のプランがあり、そのままとなっていました。

その後「松南地区50周年」という都合のよい年回りが近づき、私はその折りに地区連合会に一つ提案を申し上げます。

それは、夏は「松南地区なんぶ未来まつり」がある。近ごろ若い人達は、秋フェスティバルから冬のイベントが盛ん



です。  
殊に「ハロウィン」から始まりクリスマス、ニューイヤーフエスティバルと、これ皆イルミネーションを使ったイベントばかりなのです。  
是非、連合会で地域おこし等の事業資金を申請して、最低5か年計画で「なんぶウィンターフェスティバル」と銘打ち、ハロウィンの頃点灯式とまつりを開催したら良いのではないかと持ち掛けました。が、却下された経緯があります。

ば、それ程毎年高額な予算がなくても祭りは出来るはずで。何よりも仮装して自分を表現する「子どもと親」若者達はそんな自分達主役のおまつりが大好きなのです。  
仮装コンテスト、ダンスフェス、そして軽食があれば、あとはイルミネーションが効果を上げるはず。今の松南地区公民館の駐車場とカリヨンの位置がとも生かせるものと将来を夢見て現在に至っています。

もつと良いプランを皆さんに提案して頂き何とかしなれば、工事現場の様なイルミネーションはこれから文字通り風前の灯になるような気がしてなりません。

# 次世代に引き継ぐ 合同での三九郎

平成30年1月6日、冬晴れのキンとした空気の中、今年初めて双葉西、双葉南の両町会合同での開催となった「三九郎」が無事行われました。子どもたちの参加も多く、大変賑やかな伝統行事となりました。合同開催については様々なご意見も有りましたが概ね好評でした。

このような開催になった経緯を担当者に寄稿いただきました。

## ▼双葉西 井口純子

2年前の小学校の評議員会の中で、「双葉南町会の子どもが少なくなり家庭数が減った為にPTA活動に支障があり困っている。」と切実な思いを知りました。私たちも以前より子ども的人数が少なくなり、他人事ではなく明日は我が身だと感じたのを覚えています。支部長になり両地区の話し合いの中で「子どもは宝だから町会さんでも応援しますよ。」と町会長さんから背中を押して頂き、一緒にできる行事は合同で決まり、夏休みはラジオ体操に多くの子ども達が参加して、賑やかな声が響き笑



顔が見られました。そして、冬休みには大きな行事である三九郎を行うにあたり、わらの確保やアドバイスなど皆さんからのご協力を得て準備をする事ができました。来年以降も課題はありますが力を合わせ、地域の方に見守られながら伝統行事を絶やさないうよう、形を変えながらも続けて行けるよう願っています。

## ▼双葉南 伊藤和彦

今年度の小学生は双葉西が24名、双葉南が10名とのことです。今後も大きな増加は期待できません。また、小学校ばかりでなく中学校PTAの方々からも「少子化で活動がままならない」との声も聞きます。今後両地区PTAの緩やかな合併を含めた検討が必要かと思われま

# 新成人

現在成人式の祝い方は、各市町村により、時期的なものや実施の仕方に様々な工夫を凝らしたものとなっています。松本市では、今年からなんなんひろば内にある青少年ホームが主体となり企画運営をする様になりました。実行委員の人達が考えた本年度の成人式のテーマは「前進」だそうです。

松南地区では、成人式を迎える人が73名で、殆どの町会が記念品を贈る様になっていきます。少子高齢化の時代になり、成人式を迎える人が少なくなっていますが、大人の仲間入りをした新成人の人達の活躍をおおいに期待をしたいと思います。

松南地区では、成人式を迎える人が73名で、殆どの町会が記念品を贈る様になっていきます。少子高齢化の時代になり、成人式を迎える人が少なくなっていますが、大人の仲間入りをした新成人の人達の活躍をおおいに期待をしたいと思います。

## 20歳になる私たちと 地域の関係

双葉町 大井惇平

私たちは今年で20歳になり、成人という一つの大きな節目を迎えます。社会的にも一人の大人として認められる時が来たのです。そのため私たちも受動的でなく、今まで以上に積極的に社会へと関わっていかねばなりません。

ん。その第一歩として地域の活動に関わっていくというのがあります。

地域活動の役割とは、人々を結びつけることだと私は思います。私が小さい頃は公民館に子供たちが集まり、春には6年生と新一年生の歓送迎会を行い、夏には流しそうめんをする。秋には地域の方々を集めてボウリング大会、冬には餅つき大会をする。そのようなイベントが年に何回かは行われていました。イベントを通じて子供たち同士や、また地域の大人たちが、交流する良い機会になっていました。

また1月に行う三九郎では、地域の方々と小学校の高学年が一緒にやぐらを作るということをしていました。地域の方からやぐらの作り方を教えてもらい、伝統行事に自分たちが主体的となって関わることでできる良い機会になっていました。

毎年9月には地域主催の「なんぶ未来まつり」というお祭りがあり、地域内外から



たくさんの人たちが集まります。このお祭りはとても盛り上がり、楽しいものとなりました。

私たちは今までこのような良い機会を地域からもらって育ってきたのです。ですから、これからは地域の大人の仲間入りをした私たちが今の子供たちに対して、このように楽しいイベントなどを提供していかなければいけないのだと思います。そして地域のイベントを通して地域の方々との交流と、伝統行事への関心を深めてもらいたいと思います。そのためにも私

たちは地域に積極的に関わり、今あるイベントをより楽しく、子供たちが興味を持つて参加してもらえようなようにしたいと思っています。イベントに参加した子供たちが、自分の育つこの地域を今よりもっと好きになり、自分たちが楽しいと思えることを、そのまた次の子供たちへと繋げていってほしいと思います。